



綱敷天神社
つなしきてんじんしゃ

社報
の

第二一三号

御神札の祀り方

基本的には、一番大事にしたい神さまの御神札をお祀りになられれば結構ですが、本義に基づいてお祀りされるのであれば、

①伊勢の神宮の御神札(神宮大麻)

②氏神さまの御神札(梅田の場合は当宮)

③個人的に崇敬されているお宮の御神札

(歯の健康であれば歯神社、商売繁盛ならばお稲荷さんなど)

の順番でお祀りされると良いでしょう。



一社造りの神棚の場合
(神宮大麻を先頭に、重ねてお祀りします)

- ・初詣の参拝は間隔をあけて
- ・鈴緒、手水の柄杓は撤去
- ・境内では必ずマスク着用
- ・かがり火は中止
- ・神牛像は直接撫でず、手をかざすのみで
- ・などの対策を昨年同様取らせていただきます。
- ・なお、今回のコロナ禍第八波につきましては、本稿執筆時点では状況がどのように推移するか不透明な事もあり、感染状況によっては種々変更する場合もございます。その場合は当宮ツイッターにてご案内させて頂きます。
- ・当宮は規模の大きな神社とは違い、対応に至らぬ点も多々あるかと思いますが、出来る範囲での対策は講じて参る所存でございますので、何卒皆様のご理解ご協力の程をお願い申し上げます。

元日以降について

元日以降の授与所受付時間につきましては、

【御本社(神山町)】

二日	九時～十七時
三日	十三時～十七時
四日～十四日	新年祈祷等の為、受付出来ません
十五日	八時～十時(古しめ縄お焚き上げ)

【御旅社(茶屋町)】

二日～五日	九時～十七時
六日	新年祈祷等の為、受付出来ません
七日(土)～九日(月・祝)	十三時～十七時

今後のコロナ禍の状況次第では変更する場合の予定となつております。しかしながら、

今後のコロナ禍の状況次第では変更する場合

御朱印停止期間について

例年十二月十三日より、翌年一月半ば頃までは年末年始の多忙期の為、御朱印の受付を全面中止しております。書き置きのご対応も出来ません。
受付再開は、一月廿一日(土)十三時から予定です。以降は土日午後十三時～十七時で受付の予定です。

また、平日受付日は一月二十七日の予定です。なお、コロナ禍の状況によっては変更もございます。

今月の暦

【祭礼】 年越太祓(世一日)：半年間の罪穢れを祓う

除夜祭(世一日)：新年を引き続きのご加護を祈念し、初日の出まで灯し続ける火(靈)を燃す

【節気】 大雪(七日)：寒冷地では雪が激しく降る頃

冬至(廿二日)：日中の時間が最も短い頃

【雑節】 針供養(八日)：日頃使う針に感謝。裁縫上達。事納め

事始め(十三日)：お正月の準備を始める日

終い天神(廿五日)：今年最後の天神様の縁日

【大安】 十二月六日、十二日、十八日、廿八日

【朔望】 満月(八日)、下弦(十六日)、朔月(廿三日)、上弦(廿日)、

【旬】 〔野菜〕 大根、ネギ、白菜、山芋、レタス、レンコン
〔果物〕 ミカン、ユズ、柑橘類、リンゴ、温室イチゴ
〔魚介類〕 フグ、アンコウ、ハマチ、シシャモ、カニ
〔その他〕 アズキ、こんにゃく、海苔、蠅梅、山茶花

当宮地圖 Google MAP



Facebook



もございます事、何卒ご了承下さいませ。

の予定となつております。しかしながら、

今後のコロナ禍の状況次第では変更する場合

編著 綱敷天神社 稔宜(御旅社神主)
白江秀知